

# サンマ漁海況見通し

(対象:流し網漁船、平成25年7月)

北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場

## 要約

### 海況(現在の状況)

- 南からの暖水(表面水温 15°C)の張り出しは北緯 42° 付近にあり、道東沖は昨年よりも 3~4°C高くなっている(図1)。
- サンマの漁場水温にあたる水温 13°C前後の水温帯の位置(緯度)は、極端に北偏しており、すでに道東沖合 数十海里に達している(図1)。

### 漁況(見通し)

- 調査船北辰丸の漁獲状況からは(図2)、三陸沿岸及び沖合を北上するサンマの分布量は少ないと考えられる。道東沖の表面水温の状況から初期の漁場は沿岸に形成されるであろう。その後、南からの暖水の張り出しが北東へ進展し漁場は道東沿岸により近づくと予想される。
- 魚体の大きさは、大型魚(体長 28cm 以上)主体であるが、小型魚がかなり混じると見込まれる(図3)。

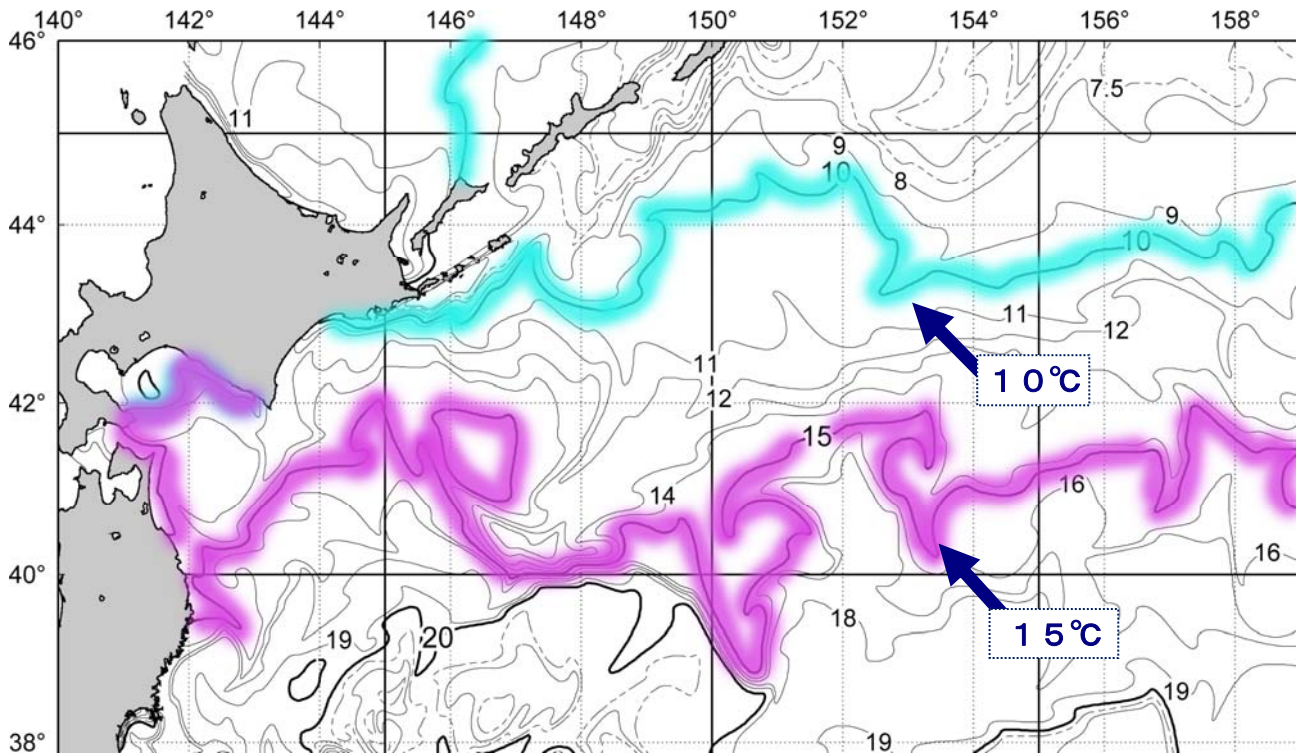


図1 平成25年6月28日の表面水温（漁業情報サービスセンター）

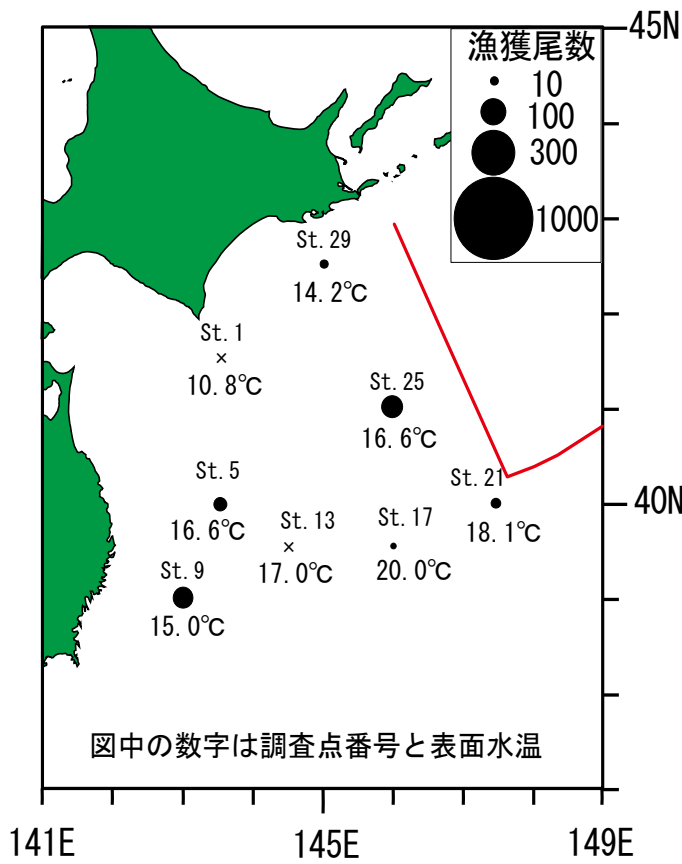


図2 北辰丸によるサンマ漁獲状況  
（図中の数字は調査点番号と表面水温）  
（平成25年6月19～27日）

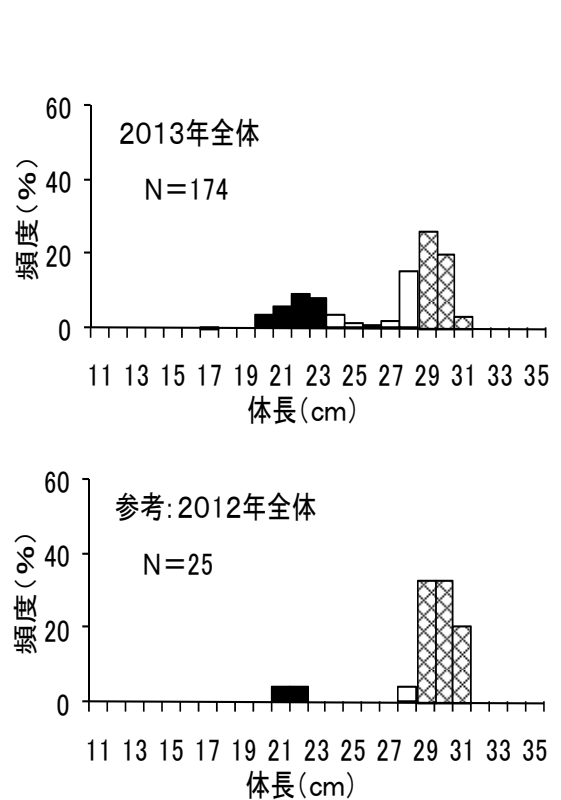


図3 北辰丸で漁獲したサンマの体長組成  
（Nは漁獲尾数）